

平成 28 年度第 1 回函館市生活交通協議会会議録

開催日時	平成 28 年 5 月 23 日（金） 18 時 30 分～20 時 00 分
開催場所	函館市役所 8 階大会議室
議 題	<p>(1) 監事の選任について</p> <p>(2) 地域間幹線系統確保維持計画および生活交道路線確保維持計画について</p> <p>(3) 平成 27 年度事業報告および決算について</p> <p>(4) 函館市地域公共交通再編調査事業について</p> <p>(5) その他</p>
出席者	<p>協議会委員</p> <p>奥平委員，木村委員，大橋委員，森委員，川内委員，横田委員，武下委員，佐々木委員，富樫委員，杉澤委員，西海委員，工藤委員，伊藤委員，塚原委員，縁蒔委員，上野山委員</p> <p>青柳委員（北海道渡島総合振興局函館建設管理部事業室道路課 主査 河本氏 代理出席），種田委員，渡邊委員，川村委員，齋藤委員，内藤委員 (計 22 名)</p> <p>ワーキンググループ委員</p> <p>金岩委員，廣瀬委員，宿村委員 (計 3 名)</p> <p>平成 27 年度委託事業受託者</p> <p>株式会社ドーコン 工藤主幹 (計 1 名)</p> <p>随行者</p> <p>函館バス株式会社 内沢バス事業部長，大川管理課係長</p> <p>北海道渡島総合局地域創生部 三浦主査 (計 3 名)</p> <p>報道関係</p> <p>北海道新聞社，函館新聞社 (計 2 社)</p> <p>傍聴者 (計 1 名)</p>
欠席者	<p>協議会委員</p> <p>滝野澤委員，鈴木委員，畑山委員，矢吹委員，桜井委員 (計 5 名)</p>
事務局の出席者の職氏名	<p>企画部計画推進室長 田畑 聡文</p> <p>企画部計画推進室政策推進課主査 江良 規生</p> <p>企画部計画推進室政策推進課主事 信田 泰子</p>

1 開 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：信田主事】

○人事異動による委員の変更

- ・川内 隆靖 委員 (函館地区バス協会事務局長)
(前 工藤 利夫 委員 (函館地区バス協会事務局長))
- ・杉澤 武則 委員 (北海道運輸局函館運輸支局首席運輸企画専門官)
(前 中山 俊彰 委員 (北海道運輸局函館運輸支局首席運輸企画専門官))
- ・西海 健 委員 (北海道渡島総合振興局地域創生部地域政策課長)
(前 谷内 眞 委員 (北海道渡島総合振興局地域政策部地域政策課主幹))
- ・伊藤 雅彦 委員 (北海道警察函館方面函館西警察署交通課長)
(前 宿村 浩司 委員 (北海道警察函館方面函館西警察署交通課長))
- ・渡邊 達也 委員 (函館市楳法華支所長)
(前 山田 隆嗣 委員 (函館市楳法華支所長))
- ・川村 義浩 委員 (函館市企業局交通部長)
(前 田畑 浩文 委員 (函館市企業局交通部長))

2 報 告

【奥平会長】

- ・ 議題に入る前に、各交通事業者から公共交通機関を取り巻く状況について、説明をお願いしたい。

【川村委員】

<平成27年度の電車事業の状況について報告>

- ・ 平成27年度の実績概数は、輸送人員が5,278千人で、運賃収入は948,700千円程度と前年度比+1.4%の増となっており、事業収益は1,385,300千円、事業費用は1,323,800千円、消費税抜きの当年度損益は35,000千円程度の純利益となる見込み。乗客増の要因としては、函館アリーナの竣工や北海道新幹線開業前から開催されたイベント等の増による市民利用や観光客等の増が考えられる。黒字は確保できたものの、人口減による定期券利用者の減少や施設の老朽化、車両の修繕費の増加傾向など、経営環境は依然として厳しい。
- ・ 平成27年度は補助金を活用して、柏木町や千代台町交差点内の軌道改良を実施した。また、平成26年度からの継続事業である駒場町変電所の改築と設備更新工事も終了した。さらに、古い車両の安全策としては、車内に握り棒を増設したり、優先座席付近のつり革の長さや色を変え、判りやすさやつかまりやすさを改善したほか、平成6年に購入した車両1両をリフレッシュし、快適性を改善した。
- ・ 平成29年度が最終年度である函館市中心市街地活性化基本計画により、五稜郭公園前電停を改築した。今年度は中央病院前電停の改築を予定している。

- ・ インバウンド対応としては、今年度は老朽化したイカすカード処理機器の更新策として、ICカード乗車券を導入することとしている。
- ・ ICカード乗車券は、市電と函館バスの運賃支払いだけでなく、大都市圏の公共交通の運賃支払いや主なコンビニでの買い物でも使用できるとともに、SuicaやPASMO、Kitacaなどのカードでも市電と函館バスにも乗ることができる仕組みを考えている。また、市電と函館バスとの乗継割引にも対応させ、イカすカードよりも使い勝手の良いものとなるように作業を進めている。
- ・ 今後も、安全で快適な公共交通機関として、更なるサービス向上と効率的な事業運営に心掛け、安定的な運営に努めていく。

【森委員】

<平成27年度のバス事業の状況について報告>

- ・ 乗合事業では、昨年度は、函館市との協議を踏まえて、函館市地域公共交通網形成計画が策定されたことは意義が大きい。
- ・ また、陣川あさひ町会のJバスの実証実験が終了し、平成27年4月から路線バス化となった。町内会、函館市、当社の三者の協力での運行計画の改善・利用促進の実施が路線バス化につながった。
- ・ 昨年は新幹線開業に向けた準備の年でもあった。渡島檜山の路線バスの新函館北斗駅への乗り入れや、函館駅前からの観光路線バスの見直しを行った。
- ・ 郊外路線では、地域住民との協議のもと、江差函館間を五稜郭経由としたり、砂原線の森町の病院への乗り入れ、奥尻瀬棚間の運行時間に合わせたフェリーターミナルへの乗り入れなど、新たな需要対策に努めている。
- ・ 今年1月に発生した軽井沢でのスキーバスの転落事故により、業界を挙げてより一層の安全対策に取り組んでいる。当社は、貸切バスの安全性評価認定制度において、安全性が優れている三つ星の事業者の認定を取得した。さらに、全車両へのドライブレコーダーの取付けが完了したので、映像を活用した社員教育に活かしていきたい。
- ・ このほか、インバウンド対応のため、乗務員向けに外部の講師を招いた研修や窓口接客マニュアルを作成する等、今後ともさらなるサービスの向上に努めてまいりたい。

【横田委員】

<平成27年度のハイヤー・タクシー事業の状況について報告>

- ・ 平成27年度は、北海道新幹線開業効果により、長く続いた売上げの減少が止まった。3月26日の開業時には、新函館北斗駅からのタクシー需要は期待ほどではなかったが、JR函館駅や函館空港からのタクシー需要が伸びたことから、開業後の函館市内の需要は数パーセント増加した。
- ・ 定額タクシーは期待するほどではなかったが、夏休み中どれほど客を取り込めるかが課題になると思っている。
- ・ 平成27年10月からタクシー運転者の登録制度が始まり、本年3月までに渡

島檜山管内で1,766名の乗務員登録が完了した。乗務員の正確な把握と資質向上を図っていききたい。

- ・ 函館地域では、北海道運輸局が平成27年8月に発表したタクシーの適正車両数が18～76台過剰と示しており、また、運転者の適正な人数を確保できない状況が続いているため、今後は需給バランスの取れた車両数とすることで乗務員の賃金をアップさせることが課題である。本年度は減車問題について、力を入れていききたい。

【塚原委員】

<平成27年度の道南いさりび鉄道事業の状況について報告>

- ・ 開業して2か月足らずのため、開業までの経過も含め報告したい。
- ・ 平成27年6月に国土交通大臣から鉄道事業者の認可を受け、交通事業者としてスタートした。同年8月に本社を札幌から函館に移転し、開業準備を本格化させてきた。行政や経済界、地域の皆さまからの支援により、本年3月26日に国土交通大臣、北海道知事、沿線首長さまなど約90人の参列をいただき、出発式を開催した。弊社の運行区間は、五稜郭～木古内間であるが、利便性を考慮して全便函館まで乗り入れており、函館～木古内間を9往復、函館～上磯間を9.5往復、車両9両で運行を開始したところである。
- ・ これまでの営業状況は、3月が開業後6日間と短い期間であるが1日2,300人強、4月が2,000人を超える方々に利用いただくとともに、大きなトラブルも無く列車を運行しており、順調に推移している。
- ・ 道の支援をいただき、地域情報列車ながまれ号を2両整備した。今年度は日本旅行と連携し、臨時運行で12回の運行を予定している。第1回は、今週末土曜日に運行する予定である。厳しい経営が見込まれているので、ながまれ号を活用して利用促進に努めてまいりたい。

3 議 題

(1) 監事の選任について

【奥平会長】

- ・ 議題(1)「監事の選任について」であるが、これまで監事を務めていただいていた、北海道渡島総合振興局の谷内委員の解嘱に伴い、監事に欠員が生じている。
- ・ 監事の選任について、委員の互選によるということになっているが、皆様いかがか。

<会長に一任の声>

【奥平会長】

- ・ 会長に一任との声をいただいた。
- ・ 私としては、これまで監事を務めていただいていた谷内委員のご後任である渡島総合振興局の西海委員にお願いしたいと思うが、皆様いかがか。

<一同了承>

【奥平会長】

- ・ 西海委員ご承諾いただけるか。

<西海委員承諾>

【奥平会長】

- ・ 西海委員が監事に就任することになった。

(2) 地域間幹線系統確保維持計画および生活交通路線確保維持計画について

【奥平会長】

- ・ 議題(2)「地域間幹線系統確保維持計画および生活交通路線確保維持計画について」を、資料に基づき、事務局と函館バス株式会社から順に説明願いたい。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

(資料1に基づき説明)

【金岩委員】

(資料2に基づき説明)

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問や意見等はないか。

<質 疑>

- ・ なし

【奥平会長】

- ・ 本件は、案のとおり了承し、5月26日開催予定の渡島地域生活確保対策協議会に報告することとしたい。

(3) 平成 27 年度事業報告および決算について

【奥平会長】

- ・ 続いて、議題（3）「平成 27 年度事業報告および決算について」を、資料に基づき、事務局からの説明のあと、本協議会の監事である大橋委員から監査報告をお願いしたい。

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：江良主査】

(資料 3，資料 4 に基づき説明)

【大橋委員】

(資料 5 に基づき，監査報告)

- ・ 函館市生活交通協議会の平成 27 年度収支決算について、関係帳簿，その他の書類を監査したところ，いずれも適正かつ正確でありましたことを認める。

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明および監査報告に対し，質問や意見等はないか。

<異議なし>

【奥平会長】

- ・ 異議がないようなので，平成 27 年度函館市生活交通協議会決算を承認する。

(4) 函館市地域公共交通再編調査事業について

【奥平会長】

- ・ 次に，議題（4）「函館市地域公共交通再編調査事業について」を，資料に基づき，株式会社ドーコンより説明をお願いしたい。

【株式会社ドーコン交通部：工藤主幹】

(資料 6 に基づき説明)

- ・ p4 以降の「バス路線再編に関する調査」について，p7 の再編案ケース 4 は，昨年度の協議会では，3 つの幹線と 11 の支線であると説明し，西部地区は支線を 2 つ示していたが，先日のワーキンググループ会議で，支線を統合した方が効率的であるという議論になり，最終的にケース 4 を 3 つの幹線と 10 の支線の形で再編集した。幹線は地図上で示しているが，支線は詳細な検討が必要であるため，概略図面で示した。
- ・ p23 以降の「東部地区におけるバス路線再編の概要」では，p27 で東部地区におけるバス路線再編案イメージを示し，図示した①～③路線を交通事業者

が担う幹線として担保し，その他の路線は，路線の必要性も含め，地域関係者と十分に協議のうえ，検討を行う必要があるとした。

- ・ p46 以降の「施設別計画交通量の設定」では，利用者数と算出指針により，3 拠点における必要バース数を算出したところ，五稜郭は 6 バース，美原は 5 バース，湯川は 5 バースが最低必要台数と算出した。なお，美原の 1 日あたりの利用者数は 3,000 人で，計算上の必要台数は 4 バースであるが，ピーク 1 時間あたり 52 便の利用を処理するため，5 バースを最低必要台数とした。
- ・ p50 以降では 3 拠点の整備案の比較検討を行った。五稜郭周辺については，A 案は 4 バースの設定のため実現性がないとし，B 案と C 案をもとに道路管理者や警察との協議を継続し，課題整理の必要があるとした。
- ・ 美原周辺は，平成 28 年度に亀田支所周辺で実施する測量成果を踏まえて，B 案をベースとした基本設計の実施を示した。4 バースは施設内にあり，1 バースは産業道路沿いに残るため，亀田施設統合整備事業と併せて，交通事業者や道路管理者，警察等との協議を進めていく必要があるとした。
- ・ 湯川周辺は，平成 32 年度に予定されている函館新外環状道路の函館空港 IC の開通により函館上磯線の交通実態の変化が予想され，A・B 案では電停の移設で費用が高額となる可能性があることから，整備検討地の範囲を広げて検討するため，C 案として，函館南茅部線上でスペースに余裕のある函館アリーナ付近の整備案を加えた。

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し，質問や意見等はないか。

【佐々木委員】

- ・ バスバースという言葉について説明してほしい。

【株式会社ドーコン交通部：工藤主幹】

- ・ 資料 p42 の浦安市浦安駅の写真で道路から引き込んだ形でバスが停車している部分や p43 の名古屋市西部医療センターの写真で函館駅前のようにバスが停車している部分のことをバスバースと呼ぶ。

【奥平会長】

- ・ 今回の報告書を踏まえて，今後の事業の進め方について，事務局から説明をお願いする。

【事務局／企画部計画推進室政策推進課：宿村課長】

- ・ 今後の事業の進め方としては，今回提出する報告書をたたき台として，関係機関との協議，路線再編に係る地域住民を対象とした説明会を経て，再編実施計画を策定してまいりたい。

【奥平会長】

- ・ ただいまの説明に対し、質問や意見等はないか。

<質疑なし>

【奥平会長】

- ・ 本報告書をたたき台として、引き続き持続可能な公共交通網の構築に向けた検討，協議を進めていきたい。

(5) その他

【奥平会長】

- ・ 議題(5)「その他」について、何か意見等はないか。

<意見なし>

【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：信田主事】

- ・ 次回の協議会は7月下旬を予定している。日程が近くなったら改めてご案内する。

【奥平会長】

- ・ 他になれば、これで予定した議事を全て終了したので、進行を事務局にお渡しする。

4 開 会 【事務局／函館市企画部計画推進室政策推進課：信田主事】